

お知らせ

資料提供

三次記者クラブ

しもほんたに
尾道松江線の下本谷トンネル(仮称)が貫通します
～広島県内で最後のトンネルが貫通～

国土交通省三次河川国道事務所が建設を進めている中国横断自動車道尾道松江線のうち、下本谷トンネル(仮称)[全長394m]が4月17日に貫通します。貴重なトンネル貫通の瞬間を実際にご覧いただけます。

本トンネルは、平成23年11月下旬からトンネル掘削に着手し、この度、貫通の運びとなりました。今後はトンネル内の覆工等の作業を進め、平成24年9月末迄には工事を完了させる予定です。

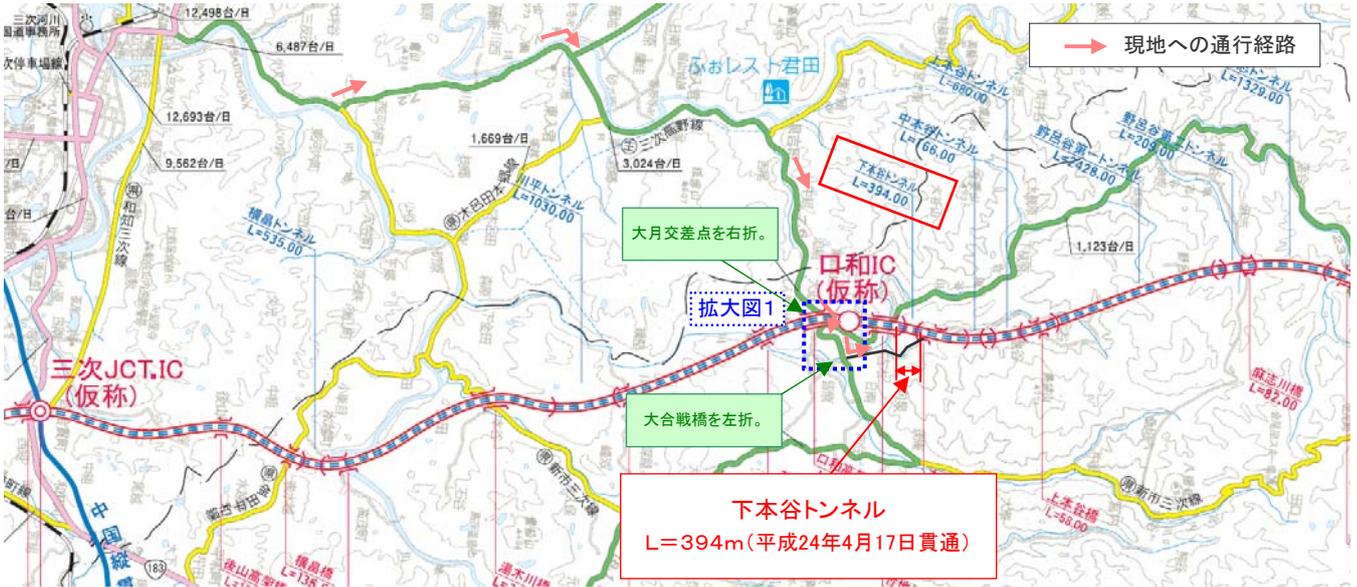
尾道松江線のうち、広島県内の区間には18本のトンネルがあり、最後のトンネルの貫通となります。

※貫通の瞬間は、10時30分～11時を予定していますので、取材をご希望の方は、10時までに現地にお集まりください。

下本谷トンネル : 庄原市口和町^{たけちだに}竹地谷地内
トンネル延長L=394m
施 工 業 者 : 東急建設株式会社
(尾道・松江自動車道 下本谷トンネル工事)

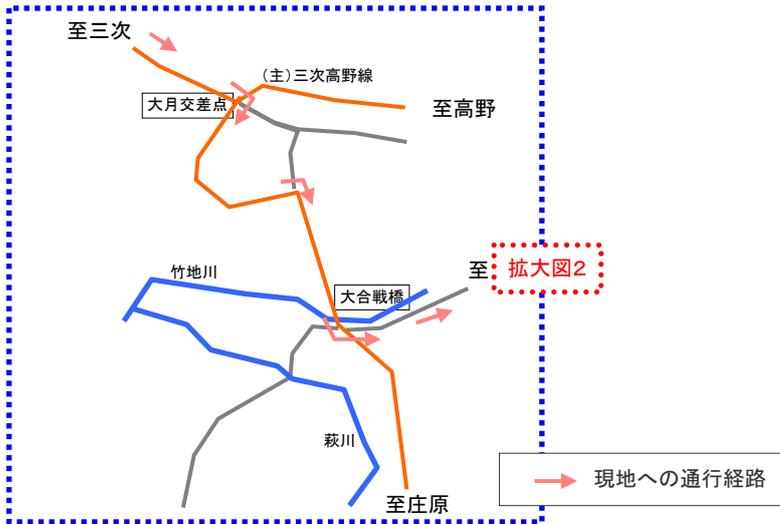
●問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
副所長(道路担当) ^{しんたく}新宅 ^{きよと}清人
【担 当】調査設計課長 ^{かげやま}景山 ^{ひろたか}浩孝
【広報担当】建設専門官 ^{なかい}中井 ^{きみお}喜美男
TEL:(0824) 63-4121(代表)

1. 位置図



※構造物及びIC等の名称は仮称です。

[拡大図1：大月交差点附近の詳細]



[拡大図2：現地附近の詳細]



2. 現地の状況



坑口の状況（着手前）



坑口の状況（現在）



トンネル内の状況



貫通の瞬間（※イメージ写真）

《 参 考 》

下本谷トンネル(仮称)工事について

中国横断自動車道尾道松江線は、広島県の瀬戸内海沿岸の尾道市を起点に、広島県北部の三次市を經由し、島根県の県都である松江市に至る延長約137kmの高速自動車国道です。

本路線は、山陽自動車道・中国縦貫自動車道・山陰自動車道及び西瀬戸自動車道と接続することにより中国・四国地方の広域的な交通ネットワークを形成し、瀬戸内海側地域と日本海側地域を結ぶ幹線道路として、輸送時間の短縮、一般道の交通混雑の緩和を図り、沿線地域の産業・経済・文化の発展に重要な役割を果たす目的で計画されたものです。

さらに、近畿・中国・九州を結び、広域的な経済を支える山陽自動車道と中国縦貫自動車道の2本の縦貫道を結ぶことによる縦貫道の機能強化及び災害時の代替路として役割を担う路線です。

下本谷トンネル(仮称)は、庄原市口和町竹地谷地内で建設を進めている全長394mのトンネルで、本トンネルの貫通により、建設中の中国横断自動車道尾道松江線の広島県内区間では全てのトンネルが貫通することとなります。

本トンネルは、平成23年11月下旬に掘削を始めた後、約5ヶ月かけ、今月17日(平成24年4月17日)に貫通することとなりました。

平成24年度に開通を予定している三次JCT・IC(仮称)～吉田掛合ICの区間に位置する当トンネルは、今後、覆工、舗装、電気通信等の工事を行っていきます。

工 事 名 : 尾道・松江自動車道下本谷トンネル工事

施工業者 : 東急建設株式会社(元請)

契 約 額 : 938,700,000円(当初契約)

掘削期間 : 平成23年11月(掘削開始)～平成24年4月(貫通)